

## 防災さんぽのまとめ

### 気づいたこと

- 塀は思ったより少なかった。
- 道路のデコボコが多く、段差やマンホールに引っ掛かりそうなところが多い。
- 雨水の逃げ場がなく、大雨の時には水が溜まりそうな場所があった。
- アパートの階段にあるトタンが落下しそうな場所があった。
- 駐車場のフェンスが倒れそうな場所があった。
- 植栽が道路にでている場所があった。
- 狭い道なのに車通りが多くスピードも出ている。
- 屋根が道路にはみ出しているように見える。

### みんなに伝えたいこと

- 暗くなると、足元が見えづらいので段差に注意してほしい。
- 街路灯が少なめで夜になると歩くのが怖い。
- マンホールの段差があるところに雨が溜まりやすい。
- 隣の町内会の方も危ないところがあり、歩く時は注意してほしい。
- 普段よく見ていないだけで、危なそうなところはたくさんある。

### 感想・その他意見

- 普段何気なく歩いている道も、注意深く見ると危ない場所が多く目につき、学ぶことができました。
- そこまで防災について考えて生活をしていなかったので良い機会になった。
- 普段見逃していた“初めて”を知ることができました。
- 見た事をまとめたことで気づきが増えた。
- 防災さんぽに参加したことにより、小さな気づきの点などにも注意できるようになると思い、大変有意義なさんぽだったと思います。
- 町内会だけでなく近くの危険箇所を回っても良かったと思います。
- 参加者がもう少し増えたらコミュニケーション作りにも役立つと思った。
- 道路が悪くなっているのが目立った。
- 「いいね／なるほど」うちわが良かった。



令和6年10月 南文化親交会 作成

# R6年度 防災さんぽ報告書

— 南文化親交会編 —  
(仙台市若林区)

日時 2024年9月28日(土) 9:00~11:30  
場所 南文化親交会内の道路  
参加者 南文化親交会、子ども会  
若林区役所(街並み形成課) 計19名

## 防災さんぽとは...

「防災さんぽ」は、普段利用している近所の道をみんなで歩き、地震発生時等に倒壊の心配があるブロック塀や落下の心配がある屋根瓦等がないか等、安全に避難や通行ができるか道の状況を確認するものです。防災さんぽを通じて生まれた気づきや感想を様々な立場の参加者同士が話し合い、情報を共有することで、地域の防災・減災意識の向上を図ることを目的としたものです。

南文化親交会では、今回初めてとなるこの取り組みを、子ども会や行政職員とともに実施しました。

## 防災さんぽのプログラム

### ① さんぽ

- ・2班に分かれて、まち歩きをしながら気になる箇所を確認しました。
- ・参加した子ども達も、積極的に測定棒を持って実測調査を行いました。



### ② まとめ

- ・班ごとに、まち歩きをして気づいたことや皆さんに伝えたいことを話し合いながら、「ふりかえりシート」にまとめました。

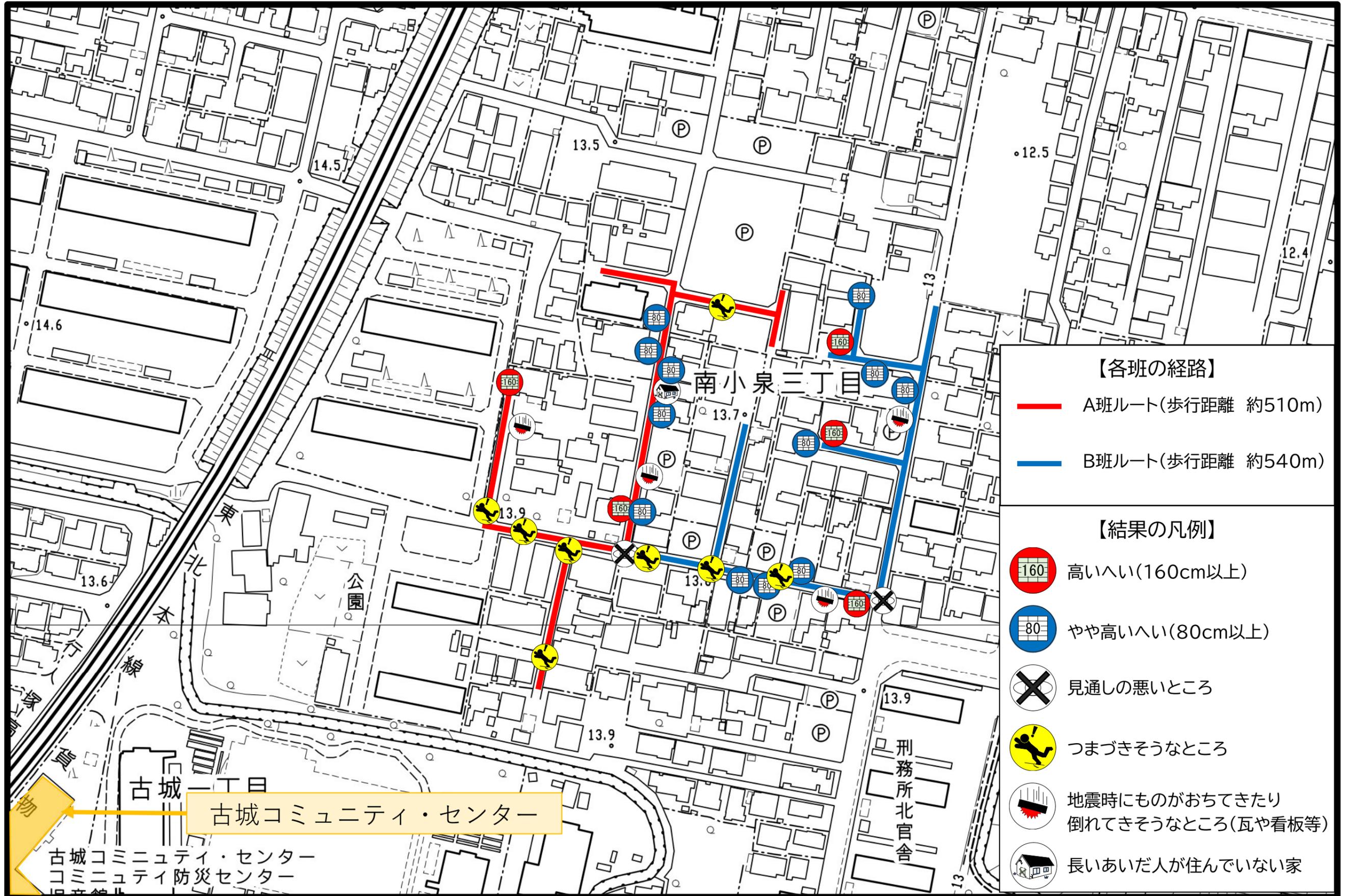


### ③ 発表

- ・町内会や子ども会の方が、まとめた内容を班ごとに発表し、共通していることや特徴的なことを参加した皆さんと共有しました。



# 防災さんぽ結果マップ南文化親交会編 (令和6年9月28日時点)



※このマップは危険性を判断しているものではありません。  
 ※このマップは当時の状況を示したものです。その後改善されている箇所もあります。